

「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖 裏磐梯」

湖美来通信

みずみらいつうしん

NO. 32
2020.3



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

発行／猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
住所／福島市杉妻町2番16号（事務局 福島県生活環境部 水・大気環境課）
TEL.024-521-7258 FAX.024-521-7927
E-mail／178465@mizu-mirai.jp
ホームページ／<https://mizu-mirai.jp>



最優秀賞

「桜つつみの春」

鈴木彦三さん（福島市） 撮影場所：猪苗代川桁八幡の溜池



第17回猪苗代湖・裏磐梯湖沼 フォトコンテスト入賞作品	2
第17回猪苗代湖・裏磐梯湖沼 フォトコンテスト審査講評	4
猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会 令和元年度 下半期活動報告	
松本零士ワールドサミット in 東京北区	4

猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラム & 猪苗代湖子ども交流会 2019 / 猪苗代湖クリーンアクション VOL.3 / 平成 30 年度支援事業助成団体活動紹介	5
おすすめスポット / 寄付御礼 / 湖美来クラブ会員募集	6

湖美来基金は、水環境保全活動を支援しています。



第17回猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞作品

猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の美しい自然と良好な水環境について、多くの方々に関心と理解を深めてもらい、水環境保全の意識高揚を図ることを目的に、第17回となるフォトコンテストを開催し、256点の作品応募がありました。厳正なる審査の結果、表紙の最優秀賞作品の他14作品が入賞しました。(4ページに審査委員長による審査講評を掲載)



審査会

優秀賞



「ミンハギ咲く湖畔」 古関喜典さん (福島市)

撮影場所：桧原湖



「朝霧の湖」 大島市郎さん (会津若松市)

撮影場所：秋元湖

入選



「初冬光彩」 佐藤健司さん (会津若松市)

撮影場所：裏磐梯中瀬沼



「山紫水明」 矢館実也さん (伊達市)

撮影場所：猪苗代湖



「裏磐梯を見守る銅沼」 浦井弘亘さん (福島市)

撮影場所：裏磐梯銅沼



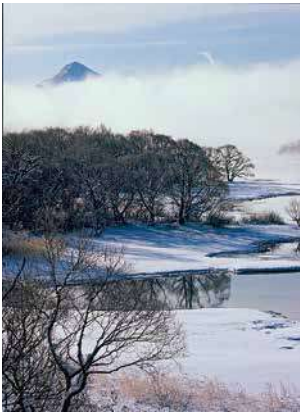
「湖底のざわめき」 林 恭子さん (郡山市)

撮影場所：桧原湖

湖美来クラブ特別賞

「凜として」 藤田一成さん(郡山市)

撮影場所：松原湖



「白鳥飛来」

半澤敏昭さん(郡山市)

撮影場所：猪苗代湖秋山浜



「小さな航海」

後藤東吾さん(福島市)

撮影場所：猪苗代湖館浜

佳作



「星の見え始めた夕べ」

野田利勝さん(福島市)

撮影場所：松原湖



「銅き沼」

笠原寿一さん(福島市)

撮影場所：猪苗代湖



「暮色の中で」

工藤俊さん(郡山市)

撮影場所：猪苗代湖

「秋彩の中津川」 千原武和さん(郡山市)

撮影場所：中津川深谷



「静寂の夜明け」

亀岡芳雄さん(会津若松市)

撮影場所：小野川湖

猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞作品巡回展示



11/22 フォーラム
猪苗代町体験交流館「学びいな」

12/16～12/26
福島県庁(福島市)

このほかにも、1月～3月上旬にかけて、会津若松市、郡山市、北塩原村、猪苗代町、三春町(コミュニティ福島)で展示しました。

また、協議会ホームページにも掲載されています。ぜひご覧ください。

HP <https://mizu-mirai.jp>

湖美来

検索

■作品募集期間：令和元年8月1日(木)～9月30日(月)

■募集テーマ：

- ・猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群流域内の湖沼(河川)の風景や水辺の動植物など豊かな水環境を表現したもの
- ・暮らしの中で、猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群流域内の湖沼(河川)と人との関わりを表現したもの

*当コンテスト入賞作品をご使用の場合は、協議会への事前申請が必要となります。また、写真展開催のご希望も承ります。詳しくは、事務局(福島県水・大気環境課 TEL024-521-7258)までお気軽にお問い合わせください。



第17回猪苗代湖・裏磐梯湖沼

フォトコンテスト 審査講評



審査委員長
鳴原 明寿氏
(福島県写真連盟会長)

第17回猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞の皆様、おめでとうございます。主催者を含む審査員5名の厳正なる審査の結果、ご案内の方々が入賞されました。

最優秀賞の鈴木彦三さんの作品は、川桁の桜つつみの春。水面の揺らぎと水の清らかさをシンメトリーに表現しました。背景の磐梯山の残雪との組み合わせが見事です。

優秀賞の古関喜典さんの作品は、裏磐梯と松原湖を背景にしたミソハギの細野湖畔に、夏の終わりを感ぜさせる風の動きを作品に込めています。同じく優秀賞の大島市郎さんの作品は、秋の秋元湖を高所より俯瞰し、朝靄の動きを幻想的に表現しています。

入選の佐藤健司さんは、初冬の中瀬沼の朝光を柔らかく表現、矢館実也さんは、磐梯山と雲の動きを広角にシンメトリーに表現、涌井弘巨さんは、今も活動を続ける磐梯山

と往時の噴火を物語る銅沼の特徴を表現、林恭子さんは、湯水期に現れる松原湖の湖底を写し、往時を甦えさせる一枚となっています。

湖美来クラブ特別賞の藤田一成さんは、タイトルどおり凜とした初冬の湖畔を湖に映し込み、半澤敏昭さんは、毎年迎える白鳥の飛来と山湖の変わらぬ自然を表現、後藤東吾さんは、水と人との共生を笑顔いっぱい表現しています。

佳作の野田利勝さんは、夏の松原湖の夕刻を一番星で表現、笠原寿一さんは、冬の猪苗代湖の不思議な現象を、同じく、工藤俊さんは、暮色に染まる夕刻の湖一面を広角に表現、千原武和さんは、秋の中津川渓谷の下流を縦位置に表現、亀岡芳雄さんは、小野川湖の秋の夜明けを幻想的に表現しています。

紙面の都合上、つたない講評ですが、来年も新たな発見を期待しています。

猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会 令和元年度 下半年活動報告

11/2

松本零士ワールドサミット in 東京北区



漫画家・松本零士さんの作品を地域おこしに生かす全国の団体が集まり、情報交換、全国への情報発信、参加団体の交流を深めることを目的として開催されている松本零士ワールドサミット。3回目となる東京都北区で開催に、協議会が参加しました。

協議会と松本零士さんは、湖美来イメージキャラクターの水恋と湖春をデザインしていた

いただいた縁があり、本年度からは湖美来クラブ応援人としてご協力いただいています。

11月2日(土)
3日(日)に東京都北区の各所

で、松本零士さんをテーマに様々なイベントが開催され、協議会は2日に赤羽会館で行われた「松本零士講演会・サミット会議」に参加しました。猪苗代湖や裏磐梯湖沼群の現状や協議会が行っている水環境保全活動の紹介と、フォトコンテスト入賞作品を投影しながら、猪苗代湖や裏磐梯湖沼群の素晴らしい風景をPRしました。



11/22

猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラム&
猪苗代湖子ども交流会2019

猪苗代町体験交流館「学びいな」において、猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラムを開催しました。今回のフォーラムは、猪苗代町・猪苗代湖環境保全推進連絡会（会津若松市・郡山市、猪苗代町）主催の「猪苗代湖子ども交流会2019」と共同開催で行い、県内各地から124名にご参加いただきました。

まず、第17回猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテストの表彰式を行い、最優秀賞に輝いた鈴木彦三さんをはじめ、出席された7名の方々に賞状と副賞が贈呈されました。

次に、猪苗代湖子ども交流会2019が行われ、猪苗代湖流域の会



フォトコンテスト入賞者のみなさん



猪苗代湖子ども交流会 2019

津若松市立湊小学校、郡山市立湖南小中学校、猪苗代町立翁島小学校が行っている水環境保全活動について発表しました。3校それぞれに様々な工夫を凝らした発表で、次代を担う子どもたちが積極的に猪苗代湖の水環境保全に努めていることを知ることができました。

基調講演は、郡山女子大学 家政学部食物栄養学科・影山志保准教授をお迎えし、「猪苗代湖の水と私たちの生活」と題して講演して



郡山女子大学 影山准教授

いただきました。水について考えることをテーマに、私たちが生きるための水、限りある水をきれいに保ち、大切にすることが私たちの命を守ることになる、水源である猪苗代湖の水環境を大切に守っていかねければならないと話されました。また、「さらめく

水ふるさと磐梯」湖美来基金支援事業でもあり、影山先生が行っている特定外来生物・ウチダザリガニの調査についても紹介されました。

10/23

猪苗代湖クリーン
アクション2019
VOL.3

前日からの雨の影響が心配されましたが、晴れ間がのぞくほど天候は回復し、ボランティア151名の参加のもと、猪苗代湖白鳥浜付近にて、ヨシの刈り取りとごみ拾いを行いました。0.6haの面積を刈り取り、岸辺から美しい猪苗代湖が見通せるようになりました。清掃後は恒例の豚汁の振る舞いで温まりました。



平成30年度
「さらめく水ふるさと磐梯」
湖美来基金支援事業助成団体
活動紹介

◆猪苗代湖北岸における漂着水草回収活動及び水環境体験活動
NPO法人輝く猪苗代湖をつくる
県民会議（郡山市）

猪苗代湖岸に漂着する水草は、放置すると腐敗して水質汚濁を進行させます。当法人は水草が腐敗する前に回収し、堆肥として有効利用する活動を行っています。猪苗代湖天神浜、松橋浜において、9月～11月の間に13回実施し、延べ1,811名のボランティアにご参加いただき、173m²の水草を回収することができました。また、福島県内4大学の水泳部員による猪苗代湖遊泳の実施、郡山市立湖南小学校エコクラブ活動の支援など、猪苗代湖の水環境保全の重要性を次代に伝える活動も行いました。





協議会会員・猪苗代
観光協会オススメの
小平瀉天満宮・白糸の滝

◆ 小平瀉天満宮 (猪苗代町)

太宰府天満宮、北野天満宮と並ぶ日本三大天満宮のひとつ「小平瀉天満宮」は、猪苗代湖の北岸、天神浜の松林に囲まれた場所にあります。学問の神様「菅原道真」を祀ることから、受験の神様として毎年多くの受験生が訪れます。また、室町時代末期に連歌の宗匠として足跡を残し、現在の和歌の基礎を作ったといわれる「猪苗代兼載」は、小平瀉天満宮に祈願したところ生まれたと伝えられています。

現在の社殿は、天暦2年(948年)に建てられたものを、天和2年(1682年)に会津藩二代藩主・保科正経によって現在地に移されたものです。「流造」という建築形式で、小規模ながら浮彫り、透彫りなどのさまざまな意匠を凝らしています。

※「初天神」1月24日・25日 「祈祥祭」2月24日・25日
「例大祭」7月24日・25日

◆ 白糸の滝 (猪苗代町)

安達太良山から押し流された溶岩が断崖を作り、硫黄鉱山の跡地から湧き出た温泉水が一筋の湯となつて流れ落ちている滝が「白糸の滝」です。滝の近くまではいけません。沼尻スキー場の最上部、安達太良登山口から徒歩5分で、滝を一望できる展望台に達します。特に紅葉シーズンは、断崖のそばに立つ木々が赤、黄、緑の彩を添え、中央の白い滝は見事なアクセントとなつて、訪れた人々を魅了させます。



白糸の滝



小平瀉天満宮

お問い合わせ先：猪苗代観光協会

▶ TEL 0242-62-2048

FAX 0242-62-2939

石崎商事(株) 様	(神奈川県川崎市)
イオンスーパーセンター(株) 様	(岩手県盛岡市)
イオンリテール(株) 様	(千葉県千葉市)
サントリー酒類(株) 様	(宮城県仙台市)
中村 玄正 様	(福島県郡山市)

(50音順)

※一万円以上の寄付について掲載させていただきました。他にも多くの方々から御寄付をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

湖美来基金に対して
寄付をいただきました。
ありがとうございます。

寄付御礼

会員
募集中

湖美来クラブ会員大募集!!

年会費：2,000円(個人) 10,000円(法人)

会員特典：各種イベントのご案内、流域特産品の抽選プレゼント

ご入会希望の方は、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口で会費をお振り込みください。

▶ 口座：02250-1-98147

▶ 名義：猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会

詳しくは、事務局までお気軽にお問い合わせください。

県庁水・大気環境課 TEL 024-521-7258

3月～5月入会者限定
湖美来
卓上カレンダーを
プレゼント

